


JIS Z8210(案内用図記号)改正の基本方針（案）について

● 図記号採用方針① 【前回と同じ】

アンケート調査の結果、日本国内 and 海外で JIS の方が理解しやすいという回答のあった図記号については、有意性がない場合も含み、グループを問わず、JIS を採用することとする。（表の  54種類）


● 図記号採用方針②

【前回の方針案】

B 及び C グループについて、国内調査 and/or 海外調査結果において ISO 図記号が優位である場合は、ISO 図記号を採用するとしてよい。

（前回資料「改正審議の基本的な方向性」より）

【今回の方針案】


アンケート調査の結果、国内 and/or 海外で ISO の方が理解しやすいという結果が出た図記号であっても、グループ B 及び C に分類される図記号については相対的に図形の違いが小さく、第 1 回の分科会で「整合しているとみなす」としたことから、JIS を採用することとする。（表の  29種類）

● 引き続き検討の必要な図記号

D 及び E グループについて

【前回の方針案】

- ・イ（1 件）については ISO 図記号を採用するとしてよい。
- ・エ（5 件）については ISO 図記号を採用するとしてよい。
- ・オ（1 件）については有意差のある結果に基づき、JIS 図記号を採用するとしてよい。（前回資料「改正審議の基本的な方向性」より）

以下の 7 つの図記号について引き続き検討が必要となっており（表の  ）、事務局作成の対応案は別紙 2 のとおり。

- イ 温泉
- エ 駐車場
- エ 手荷物受取所
- エ 救護所
- エ 乳幼児設備
- エ 乗り継ぎ
- オ 案内所

表：アンケート調査結果（理解度）の概要

区分	国内調査結果	海外調査結果	グループ分け（※） した該当数	
			B 及び C	D 及び E
ア	JIS が優位	JIS が優位	41	6
イ	JIS が優位	ISO が優位	7	1
ウ	ISO が優位	JIS が優位	1	0
エ	ISO が優位	ISO が優位	16	5
オ	JIS が優位	有意差が無い	6	1
	ISO が優位	有意差が無い	3	0
	有意差が無い	JIS が優位	1	0
	有意差が無い	ISO が優位	2	0

（※） JIS と ISO で図形が異なる程度別に応じてグループ分け（B-E）

A:図形が全く同様のため、アンケート調査では対象外）

B:ほぼ同じだが細部が異なる

C:異なる部分が定義のキー要素ではない

D:異なる部分が定義のキー要素となり得る

E: 図形が全く異なる

（参考）

【背景①】

平成28年9月8日の第1回分科会で、JIS Z 8210の図記号をA～Fまでのグループ分けを行った。このとき、整合していないと思われるグループD及びEを特定し、調査を行うことを決定した。また、整合していると思われるグループB及びCについても、JISの優位性や理解度を確認するため、この機会をとらえて合わせて調査を行うことにした。

【背景②】

アンケートでは、JISとISO図記号を比べる比較調査を行うこととした。これはJIS図記号、ISO図記号ともに既に理解度・視認性は高い水準であると考えられるため、それぞれ単体の理解度を調べて同じようなデータを集めるよりは、JISとISOの図記号を比べてどちらがJISとしてより適切であるかを調査する方が判断材料が増えるのではないかという考えがあったからである。